

## 鹿慢性消耗病のファクトシートについて

### 1 経緯等

鹿慢性消耗病（CWD：Chronic Wasting Disease）は、第104回プリオン専門調査会（平成29年5月17日開催）における審議の結果、CWDに係る情報、特に食品を介したヒトへのリスクに関する知見を整理し、取りまとめることとなり、第670回食品安全委員会（平成29年10月24日開催）へファクトシートとして報告し、公表したものである。

平成29年10月のファクトシート公表から5年以上が経過していること、現在、CWDは北米（米国、カナダ）、北欧（ノルウェー、フィンランド、スウェーデン）、韓国において継続して発生していること、近年、学会等でも研究報告が多いこと等から、最新の知見を含めファクトシートの見直しを行うこととしたい。

### 2 主な変更点

情報整理の観点から、全体構成、記載内容等の整理を行うとともに、現状を踏まえて以下の通り見直しを行う。

- ・ 項目の順番の入れ替え
- ・ 科学的知見の記載及び表現方法を整理
- ・ 各国の発生地図のグラフ化
- ・ 株やプリオンタンパク質遺伝子多型の内容等を追加
- ・ 動物実験に関する新たな知見を追加

### 3 検討事項

- ・ 全体構成及び記載内容について
- ・ 2で提示した以外の追加すべき知見について